





# RECYCLE ACTION for Clothing

好みや体型の変化で着られなくなってしまった服、  
クローゼットに眠っていませんか。

## いらなくなった服に、 「捨てる」以外の選択肢を。

BRINGは多くの企業と連携し、店頭等で衣料品回収を実施。  
集まった服のうち、まだ着られるものはリユース、  
着られないものは素材ごとに  
分別してリサイクルしています。  
クローゼットにスペースが生まれれば、  
また新しい服が欲しくなる。  
BRINGは、環境貢献と経済活動を両立させる  
リユース・リサイクル活動で、  
サーキュラーエコノミーを実現します。



## 回収実施企業

(2023年4月17日現在)

### 回収拠点

(スポット開催を含む)

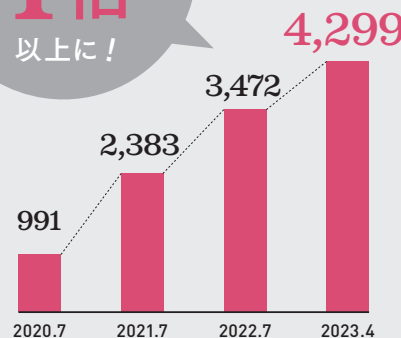
# 4,299

ブランド数

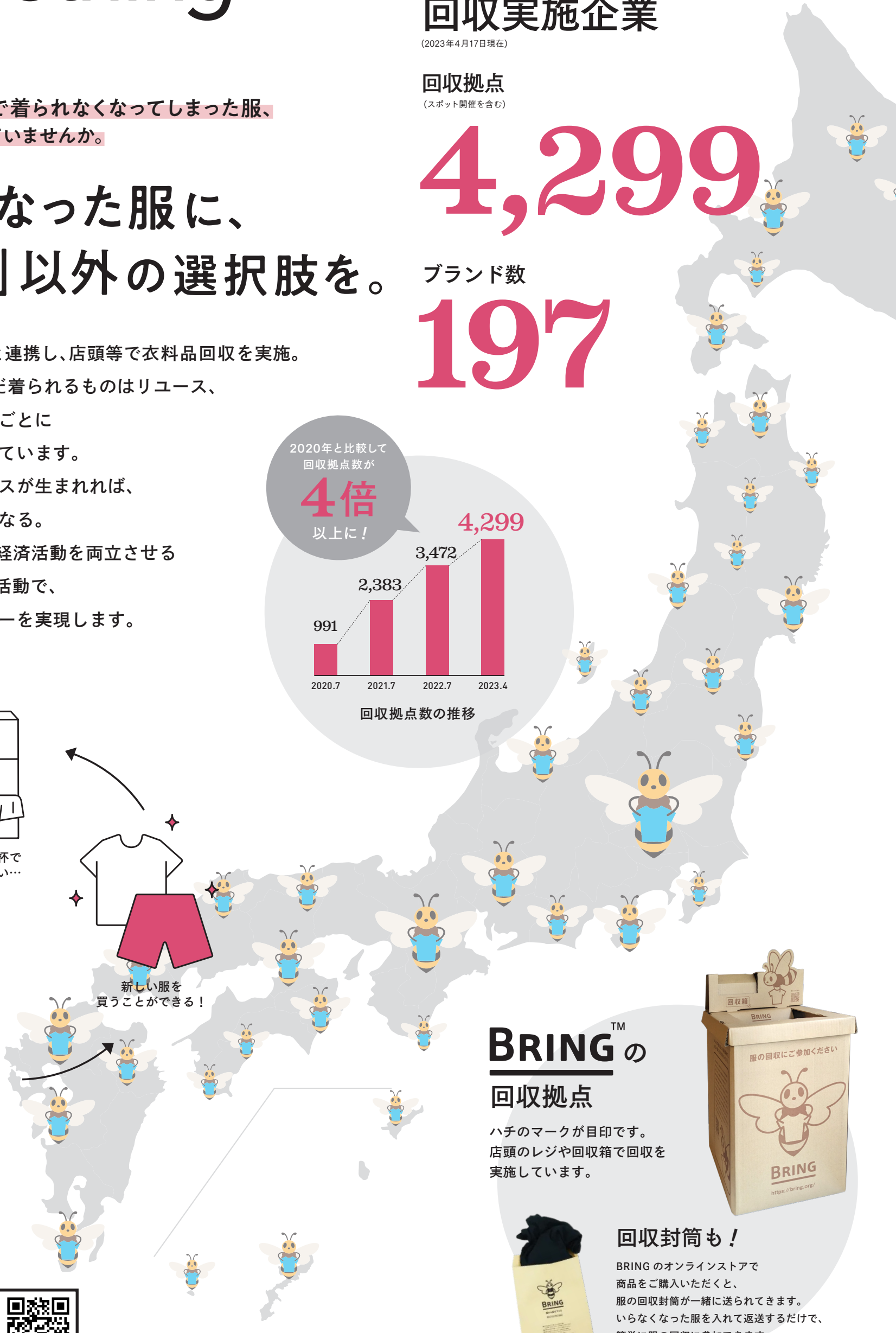
# 197

2020年と比較して  
回収拠点数が

## 4倍 以上に！



## BRING<sup>TM</sup> 回収拠点マップ



## BRING<sup>TM</sup> 回収拠点

ハチのマークが目印です。  
店頭のレジや回収箱で回収  
を実施しています。

### 回収封筒も！

BRINGのオンラインストアで  
商品をご購入いただくと、  
服の回収封筒と一緒に送られてきます。  
いらなくなった服を入れて返送するだけで、  
簡単に服の回収に参加できます。



## BRING<sup>TM</sup>は、 地球を着まわす服を 服からつくる ブランドです。

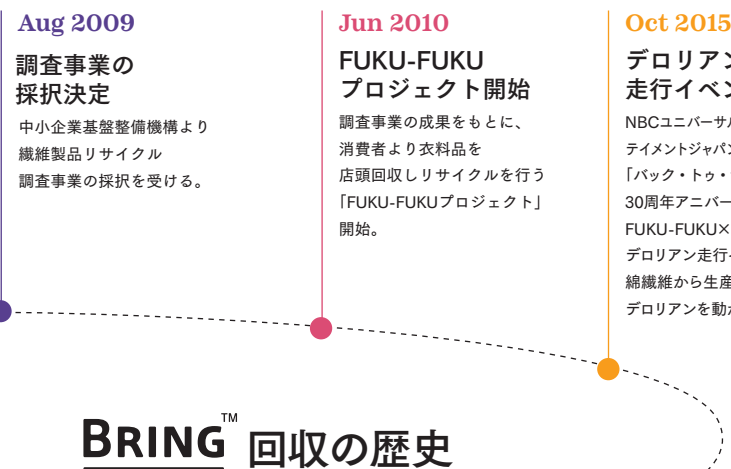
BRING<sup>TM</sup>は、毎日の生活と自然の中で生き延びるための服をつくります。そして、その生活を続けていくために、様々なブランドと一緒に使わなくなった服の回収を行い、自社工場での原料に再生し、再び服にまでもなんども循環させるサーキュラーエコノミーを実現しているブランドです。

そして、サーキュラーエコノミープラットフォームとして、循環した服の原料をBRING Material<sup>TM</sup>と呼び、多様なブランドへの原料供給を行っています。また、ポリエステルをモノマーに分解し再度ポリマーにまで循環させるBRING Technology<sup>TM</sup>(pat.)を様々なステークホルダーにライセンスしています。



## いつまでも、 なんども続けられる BRING Technology<sup>TM</sup>

わたしたちが大事にしているのはいつまでも、なんどもリサイクルすること。これまではPET (=ポリエステル) ボトルを繊維にリサイクルする方法はありました。でも、その繊維をリサイクルする方法はほとんど無く、一度しかリサイクルできていなかったのです。いつまでも、なんども続けられるケミカルリサイクルによる、BRING Technology<sup>TM</sup>(pat.)を開発しました。



# ECOFF

# BRING<sup>TM</sup>



2016年からスタートした、大丸・松坂屋の「エコフ リサイクルキャンペーン」。使わなくなった服・靴・バッグを店頭で回収し、リサイクル・リユースにつなげるお客様参加型のプロジェクトで、2023年3～5月に第15回目の開催を迎えました。プロジェクト始動からプロデューサーを務める永井滋さんと、BRING店頭回収リーダー 高杉の対談をお届けします。

高杉 エコフが始まって8年。初回は3万キロだったのが、2022年秋会期では200トンに迫る回収量でした。この回収実績については、どう感じていらっしゃいますか。  
永井 継続することで、徐々に認知度が高まってきた結果ですね。まだまだ回収量は伸びるのではないのでしょうか。ただ近年、お客様の買い物に対する意識に変化が見られ、一つのものを大切に、長く使う方が増えてきているように思います。そのため僕らも、単にエコフ

の回収量を増やすことを目標とするのではなく、お客様のリユースやリサイクルに対する意識に寄り添っていき取り組みを始めるべきです。例えば、お客様自身がボタンやファスナーを外し、それぞれ別の回収に持って行くことで、リサイクルの効率や質が上がるのでは？と思っています。

高杉 ペットボトルを捨てる際に、キャップやラベルを外すのと同じですね。リサイクル効率が上がれば、処理量も増えます。そのひとつが、どう地球環境に関わるかということを私たちも発信していかなければと思っています。

永井 今は回収後、リユースとリサイクルに分けられているという表面的なことしか伝えられていないのですが、実際にどんな国に渡っているのか、どういったものにリサイクルされているのかという情報の可視化も、今後行うべき使命だと考えています。エコフは僕らにとって、直接お客様とコミュニケーションをとることのできる貴重な場です。お客様の声を反映し、毎回開催する度に、必ず何かをアップデートしています。一つずつ進化させていくことで、お客様と従業員がともに、愛情を持って育てていけるプロジェクトになればと思っています。

高杉 リサイクルしてできたポリエステル樹脂を使ってエコフの回収箱を作ったり、会期中はBRING Material<sup>TM</sup>でできたアパレル製品が店頭に並んだりするなど、参加してくださった方の目に見えるかたちでサーキュラーエコノミーを実現出来たら良いですね。エコフに参加することによって、「リサイクルってこんなに楽しいんだ」と思ってもらえたら嬉しいです。







**1着あると便利な  
シルエット自由自在型ワンピース  
B zipup one-piece**  
Free / ¥24,200

胸元、ウエスト、裾口の調整でお好みのシルエットが楽しめる、使い勝手の良いワンピース。すくとAラインでもいいし、ウエストを絞ってみてもOK。シーンに合わせて、インナーでカジュアルにも、綺麗めにも、スポーティにも。簡単におしゃれにまとまるため、忙しい朝につき手に取りたくなる1着です。

**B**  
anytime, anywhere




シンプルだからこそディテールに拘った  
BのフライスTシャツ

**B basic t-shirts**  
S-M, M-L / ¥8,800

「定番のTシャツだからこそ拘りたい」そんな、女性の想いを形にしました。ゆとりを持たせながらウエストをほのかに絞ることで、着心地の良さと美しいシルエットを両立。袖のパターンは、体型を問わず腕のラインが綺麗に見える設計にしています。同系色のさりげないロゴ刺繍入りで、1枚でも様になるデザイン。



程よいパフスリーブがアクセントになった  
着回し力抜群のプルオーバー

**B puff sleeve pullover**  
Free / ¥13,200

足が長く見えるクロップド丈で、ボトムスを選ばず幅広いコーディネートで活躍。身幅はゆとりをもたせつつ、着膨れしないよう絶妙なバランスに仕上げました。メンズライクになりがちなスウェットですが、程よいパフスリーブと同系色のロゴ、タグがポイントとなっており、味違った印象に。



あらゆるシーンで  
すっきりまとまる優秀パンツ

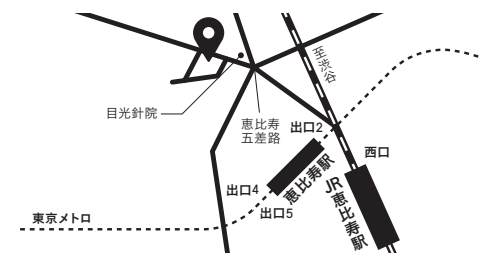
**B slit jogger pants**  
S-M, M-L / ¥18,700

スポーティながら上品な仕上がりの1枚。シンプルなトップスを合わせても、ヒールやジャケットを合わせてオフィスカジュアルにも。裾リブはジョガーシルエットで足首がすっきり。また、程よいゆとりのあるパターンとゴム仕様のウエストで、車や新幹線、飛行機など、長時間の移動でも快適にご着用いただけます。

## SHOP

### BRING EBISU

東京都渋谷区恵比寿西2-9-8 大澤ビル1F  
OPEN Wed,Thu,Fri,Sat 12:00-19:00



### BRING CIRCULAR TAKAO

東京都八王子市高尾町2219  
OPEN Wed,Thu,Fri 11:00-18:00/Sat,Sun 9:00-18:00

